

名張市学校施設長寿命化計画

令和4年1月

名張市教育委員会

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

① 背景

名張市では学校施設として19校保有しており、主要施設の延べ床面積は11.2万㎡で本市が所有する公共施設の約1/3を占めています。また、学校施設の多くは昭和40年から50年代に建設され、築30年を超えていることから、今後、老朽化による維持管理や改築に多額の費用が必要となることが想定されます。

学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であり、児童生徒の生きる力を育むための教育環境として重要な意義を持っており、快適で衛生的な環境を整え、安心・安全な施設とする必要があります。また、災害時には避難所としての機能を担っていることから、防災機能の強化を図っていく必要もあります。

② 目的

このように、学校に求められる機能が複雑化・多様化する中、老朽対策は劣化した建物や設備について建設時の状態に戻すだけでなく、機能や性能を時代の背景やニーズに合わせ現在の学校に求められている水準まで引き上げていくことが重要です。

しかし改修には多額の費用を要することから、計画的に学校施設の改修や更新を行う必要があります。学校施設の維持管理・更新等にかかるトータルコストを削減し、財政負担の軽減と平準化を図るため中長期的な施設の整備方針を示し、計画的に老朽化対策を進めることを目的として本計画を策定します。

③ 計画期間

令和 4 年度～令和 23 年（ 5 年ごとに見直し）

本計画は上位計画である「名張市公共施設等総合管理計画」に基づく学校施設の個別施設計画として策定しているものであり、計画期間は上位計画の範囲内である令和4年度から令和23年度の20年間とし、5年ごとに計画を見直すことを基本として、財政状況や制度改正、上位計画及び名張市教育ビジョン等の変更に伴い適宜見直しを行います。

④ 対象施設

名張市教育委員会が所管する小学校及び中学校を対象とします。

■対象施設 一覧

	番号	学校名	所在地	建設年度※	
				西暦	和暦
小学校	1	名張小学校	名張市丸之内55番地	1955	S30
	2	蔵持小学校	名張市蔵持町原出338番地	1971	S46
	3	薦原小学校	名張市薦生1595番地	1976	S51
	4	比奈知小学校	名張市下比奈知1422番地	1977	S52
	5	美旗小学校	名張市新田117番地2	1978	S53
	6	箕曲小学校	名張市夏見351番地	1976	S51
	7	錦生赤目小学校	名張市赤目町檀116番地	1980	S55
	8	桔梗が丘小学校	名張市桔梗が丘3番町2街区67番地	1971	S46
	9	桔梗が丘南小学校	名張市桔梗が丘5番町12街区38番地	1975	S50
	10	桔梗が丘東小学校	名張市桔梗が丘7番町1街区86番地	1979	S54
	11	つつじが丘小学校	名張市つつじが丘北3番町5番地	1980	S55
	12	すずらん台小学校	名張市すずらん台東3番町5番地	1983	S58
	13	梅が丘小学校	名張市梅が丘北1番町340番地	1988	S63
	14	百合が丘小学校	名張市百合が丘東9番町1番地	1991	H3
中学校	1	名張中学校	名張市丸之内15番地	1951	S26
	2	赤目中学校	名張市箕曲中村219番地	1974	S49
	3	桔梗が丘中学校	名張市桔梗が丘7番町1街区1926番地1	1973	S48
	4	北中学校	名張市美旗中村2380番地	1980	S55
	5	南中学校	名張市つつじが丘南1番町241番地	1982	S57

※ 施設の中で一番古い建物の建設年度

(2) 学校施設の目指すべき姿

名張市教育ビジョンの基本目標の一つである「安全で安心な教育環境の整備」を実現するための取り組み及び生活様式、社会情勢など時代に適応した学校施設の整備を進めていきます。

【主な取組内容】

◇老朽化対策の推進

屋上防水、内外装など校舎の経年劣化に伴う改修や、給排水設備や電気設備などのインフラ設備の更新を計画的に進めていきます。

◇学習環境の向上

老朽化対策と並行して、トイレの洋式化、乾式化を進め、衛生面と機能面の向上を進めます。また、ICT環境整備を進めるとともに、35人学級に対応するなど学習内容や学習形態の変化に対応した整備を進めていきます。

◇環境を考慮した施設整備

節電、節水などの設備更新による省エネルギー化と低炭素化を考慮した施設整備を進めていきます。

◇防災機能の向上

災害時には地域の避難所となることから、児童生徒だけでなく不特定の人が安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインへの対応や非構造部材の耐震化など、避難所としての防災機能を強化する施設整備を進めていきます。

(3) 学校施設の実態

① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

1) 対象施設一覧（令和3年5月1日現在）

令和3年5月1日現在

	名称	住所	児童生徒数 (人)	学級数(学級)	
				普通 学級	特別 支援
小 学 校	1 名張小学校	名張市丸之内55番地	440	13	6
	2 蔵持小学校	名張市蔵持町原で338番地	185	6	4
	3 薦原小学校	名張市薦生1595番地	97	6	3
	4 比奈知小学校	名張市下比奈知1422番地	268	11	3
	5 美旗小学校	名張市新田117番地2	349	12	5
	6 箕曲小学校	名張市夏見351番地	81	6	1
	7 錦生赤目小学校	名張市赤目町櫓116番地	158	6	2
	8 桔梗が丘小学校	名張市桔梗が丘3番町2街区67番地	491	17	4
	9 桔梗が丘南小学校	名張市桔梗が丘5番町12街区38番地	211	9	3
	10 桔梗が丘東小学校	名張市桔梗が丘7番町1街区86番地	186	6	3
	11 つつじが丘小学校	名張市つつじが丘北3番町5番地	616	19	5
	12 すずらん台小学校	名張市すずらん台東3番町219番地	147	6	3
	13 梅が丘小学校	名張市梅が丘北1番町340番地	308	12	3
	14 百合が丘小学校	名張市百合が丘東9番町1番地	429	14	5
小学校 計			3966	143	50
中 学 校	1 名張中学校	名張市丸之内15番地	440	14	6
	2 赤目中学校	名張市箕曲中村219番地	358	10	3
	3 桔梗が丘中学校	名張市桔梗が丘7番町1街区1926番地 1	430	13	3
	4 北中学校	名張市美旗中村2380番地	395	12	3
	5 南中学校	名張市つつじが丘南1番町241番地	307	9	2
中学校 計			1930	58	17
小・中学校 合計			5896	201	67

2) 児童生徒数及び学級数の変化（令和3年5月1日現在）

<児童生徒数>

(人)

	これまでの推移			現在	将来推計	
	2006	2011	2016	2021	2026	2030
	平 18	平 23	平 28	令 3	令 8	令 12
小学校	4,598	4,345	4,082	3966	3,323	2,638
中学校	2,522	2,142	2,076	1930	1,982	1,733
合計	7,120	6,487	6,158	5896	5,305	4,371

<学級数>

(学級)

		これまでの推移			現在	将来推計	
		2006	2011	2016	2021	2026	2030
		平 18	平 23	平 28	令 3	令 8	令 12
小学校	普通学級	175	174	152	143	123	112
	特別支援学級	23	34	38	50	—	—
中学校	普通学級	74	64	61	58	56	50
	特別支援学級	10	11	15	17	—	—
合計	普通学級	249	238	213	201	179	162
	特別支援学級	33	45	53	67	—	—

※将来推計は令和3年5月1日現在の数値であり、学級数は標準学級数

【小学校】

児童数はこれまでの推移同様、将来推計も減少する見込みとなっています。

また、学級数についても令和3年度から段階的に35人学級となりますが、減少する見込みとなっています。

【中学校】

これまでの推移では年々生徒数が減少しています。一時的に令和6年度をピークに増加しますが、その後は減少する見込みとなっています。学級数についても減少する見込みとなっています。

3) 学校施設の配置状況

教育施設位置図



4) 施設関連経費の推移

平成 27 年度までに耐震性が不足している学校施設の耐震改修を大規模改修と併せて実施しました。さらに平成 30 年度から令和 2 年度にかけては、空調設備の設置、照明の LED 化、防災機能を強化する太陽光発電設備等の整備を実施したことから施設整備費が増加しました。また、維持管理費及び光熱水費・委託料については、ほぼ横ばいで推移しています。

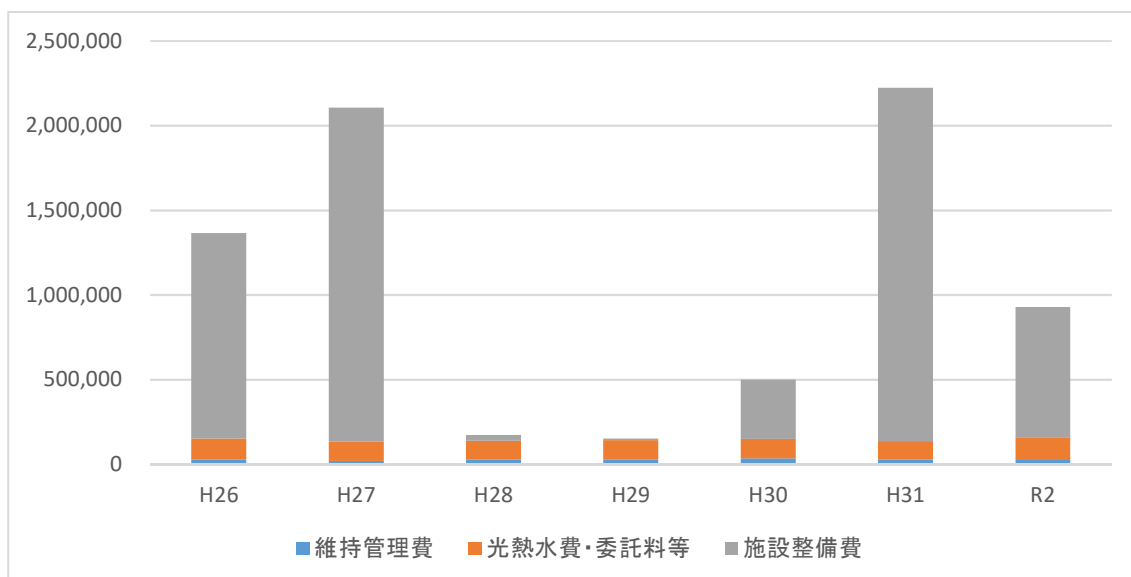
平成 28 年度から令和 2 年度までの直近 5 年間の施設関連経費の年平均は約 8.1 億円となり、そのうち大規模改修等に係る施設整備費は全体の 8 割超の大きなウエイトを占めています。

施設関連経費の推移

(千円)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	H28~R2 5 年平均
施設整備費 (大規模改修等)	1,213,855	1,973,416	34,928	9,785	349,013	2,086,953	772,569	650,650
その他 施設整備費				17,049	13,038	34,497		21,528
維持修繕費	26,587	18,725	26,492	28,347	35,125	26,479	24,968	30,282
光熱水費・ 委託費等	124,096	114,736	111,045	112,858	115,306	110,696	131,170	116,215
施設関連経費 合計	1,364,538	2,106,877	172,465	168,039	512,482	2,258,625	928,707	808,064

(千円)



5) 学校施設の保有量

本計画の対象施設は、小学校 14 校、中学校 5 校の合計 19 校となり、主な施設の保有面積は 11.2 万㎡です。小学校と中学校を合わせた保有面積の約 98%にあたる 11.1 万㎡の施設は築 20 年以上を経過し、さらに約 87%にあたる 9.7 万㎡の施設については築 30 年以上が経過しており、小学校・中学校ともに老朽化が進んでいる状況です。

令和3年5月1日現在

名称		住所	棟数※	保有面積
小 学 校	1 名張小学校	名張市丸之内55番地	5	6,114
	2 蔵持小学校	名張市蔵持町原で338番地	4	3,562
	3 薦原小学校	名張市薦生1595番地	4	2,882
	4 比奈知小学校	名張市下比奈知1422番地	3	4,343
	5 美旗小学校	名張市新田117番地2	4	4,753
	6 箕曲小学校	名張市夏見351番地	3	3,720
	7 錦生赤目小学校	名張市赤目町檀116番地	2	3,935
	8 桔梗が丘小学校	名張市桔梗が丘3番町2街区67番地	7	4,066
	9 桔梗が丘南小学校	名張市桔梗が丘5番町12街区38番地	3	4,892
	10 桔梗が丘東小学校	名張市桔梗が丘7番町1街区86番地	4	4,775
	11 つつじが丘小学校	名張市つつじが丘北3番町5番地	4	6,447
	12 すずらん台小学校	名張市すずらん台東3番町219番地	3	4,171
	13 梅が丘小学校	名張市梅が丘北1番町340番地	4	6,667
	14 百合が丘小学校	名張市百合が丘東9番町1番地	4	7,383
小学校 計			54	67,710
中 学 校	1 名張中学校	名張市丸之内15番地	6	10,442
	2 赤目中学校	名張市箕曲中村219番地	5	7,632
	3 桔梗が丘中学校	名張市桔梗が丘7番町1街区1926番地 1	9	11,263
	4 北中学校	名張市美旗中村2380番地	4	8,228
	5 南中学校	名張市つつじが丘南1番町241番地	6	6,402
中学校 計			30	43,967
小・中学校 合計			84	111,677

※ 改修等の際、一体的に工事すべき複数の施設を「ひとつの棟」としている。

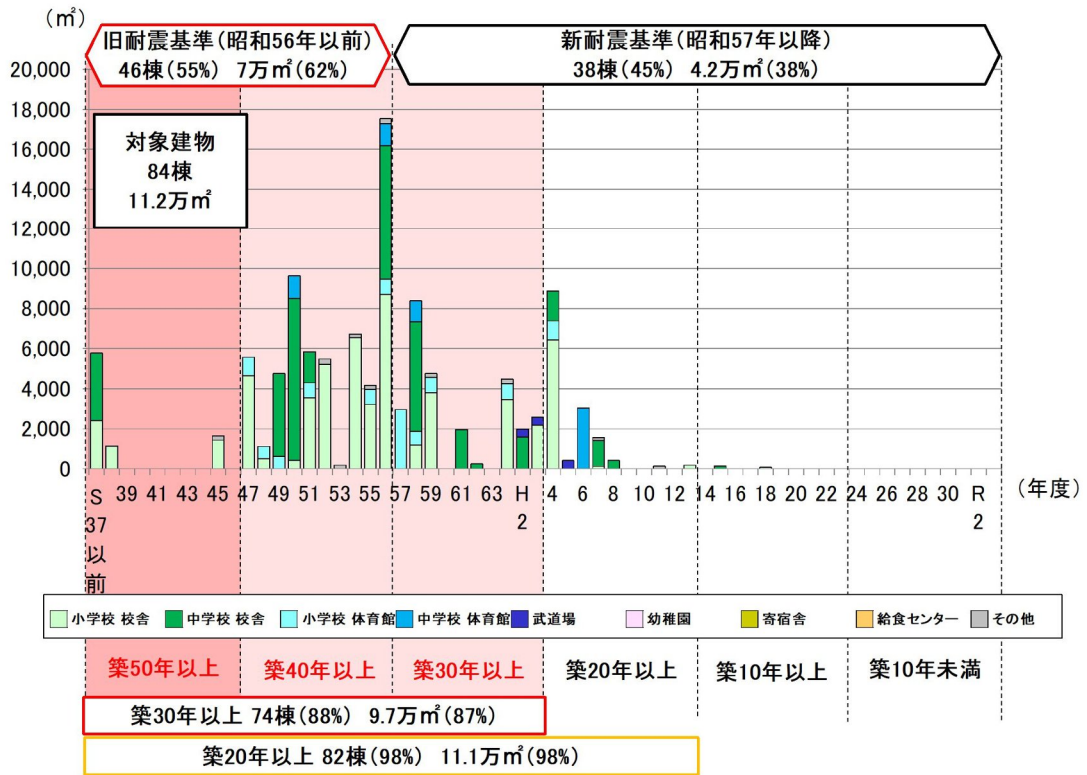
統廃合の状況

学校規模配置の適正化実施計画により、下記の小学校を閉校しました。

比奈知小へ	長瀬小学校	名張市長瀬1418番地	平成20年度閉校
比奈知小へ	滝之原小学校	名張市滝之原1050番地	平成26年度閉校
つつじ小へ	国津小学校	名張市神屋1866番地	平成26年度閉校
※	錦生小学校	名張市安部田2270番地	平成26年度閉校
※	赤目小学校	名張市赤目町檀116番地	平成26年度閉校

※平成26年度、錦生赤目小学校として開校

築年別整備状況

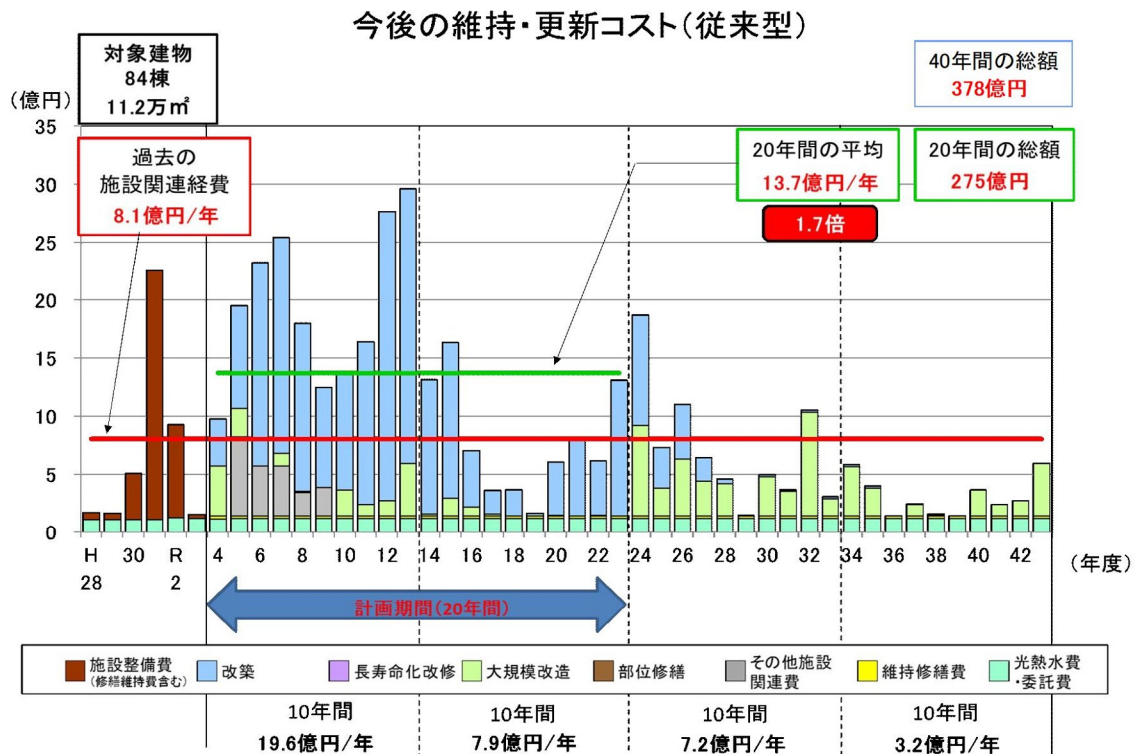


6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

これまでどおり施設の更新周期を50年とした計画（従来型）では、令和4年度から令和23年度までの20年間で、年平均約13.7億円の費用が必要となり、過去直近5年間における施設関連経費の年平均の1.7倍となります。また、令和4年度から令和13年度までの直近10年間においては、築50年を迎える施設の改築が集中することから、年平均約19.6億円の費用が必要となり、従来型の維持管理方法を継続することは非常に困難なことが想定されます。

コスト試算条件（従来型）

基準年度 2021 年 試算期間: 基準年の翌年度から40年間			
改築			
更新周期	50 年	工事期間	2 年
改築単価	203,400 円/㎡	実施年数より古い建物の改修:	10 年以内に実施
大規模改造			
実施年数	20 年周期	工事期間	1 年



※「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（文部科学省）付属エクセルシートを活用

②学校施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

本市の学校施設は築 30 年以上経過した施設が大多数を占めており、特に大規模改修を行っていない施設については劣化が進んでいます。また、新耐震基準で建築された施設についても築 30 年を越えており、老朽化が進んでいることから老朽改修が必要な状況です。

【構造躯体の健全性】

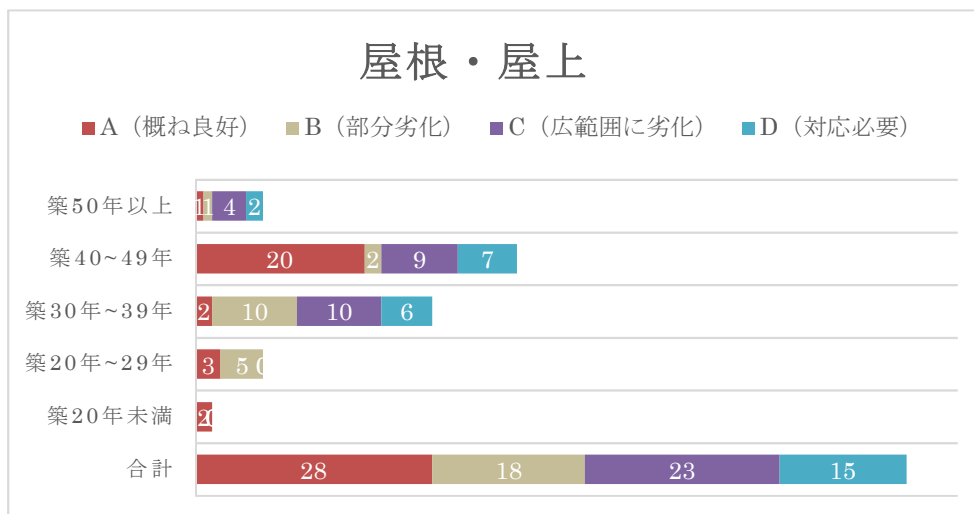
昭和 56 年以前に建設された旧耐震基準の施設は耐震診断を行い、耐震性の不足していた施設については耐震補強が完了しており、コンクリート圧縮強度についても 13.5N/mm² 以上あることから、構造躯体については健全と言えます。これらのことから、旧耐震基準の施設も含め、適切な時期に長寿命化改修を実施することで、築 80 年程度利用可能であると想定できます。

【構造躯体以外の老朽化】

構造躯体の健全性に対する影響が大きい「屋根・屋上」、「外壁」については、過去に大規模改修を実施していない築 30 年を超える施設の多くは劣化調査の結果、C 又は D 評価となっています。また、「電気設備・機械設備」も同様に、大規模改修を実施していない築 40 年を超える施設の多くは C 又は D 評価となっています。構造躯体以外については劣化が進んでおり計画的な改修の検討が必要です。

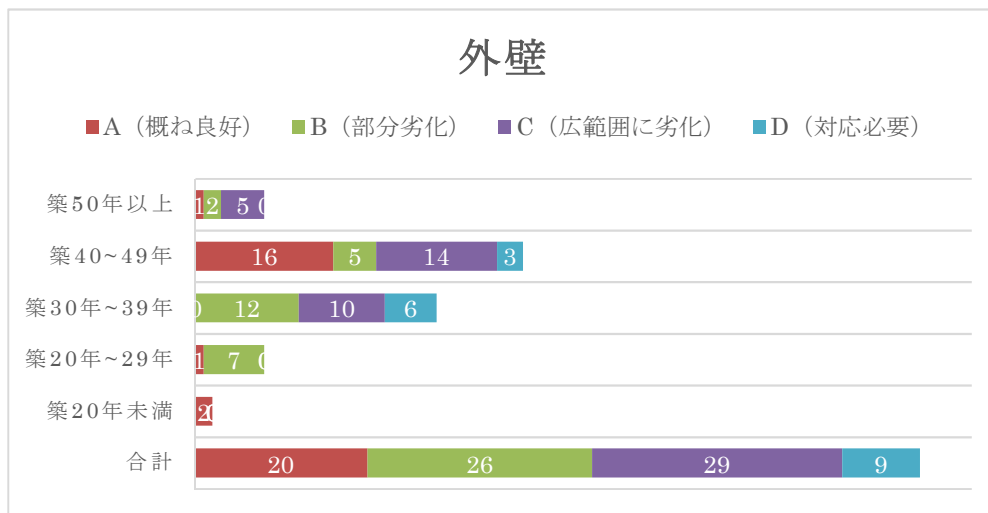
【屋根・屋上】

築 40～49 年の A 評価は大規模改修を実施した施設であり、概ね良好との結果となっていますが、それ以外の築 30 年を超える施設については C 及び D 評価が約半数を占め、早急な対応が必要です。



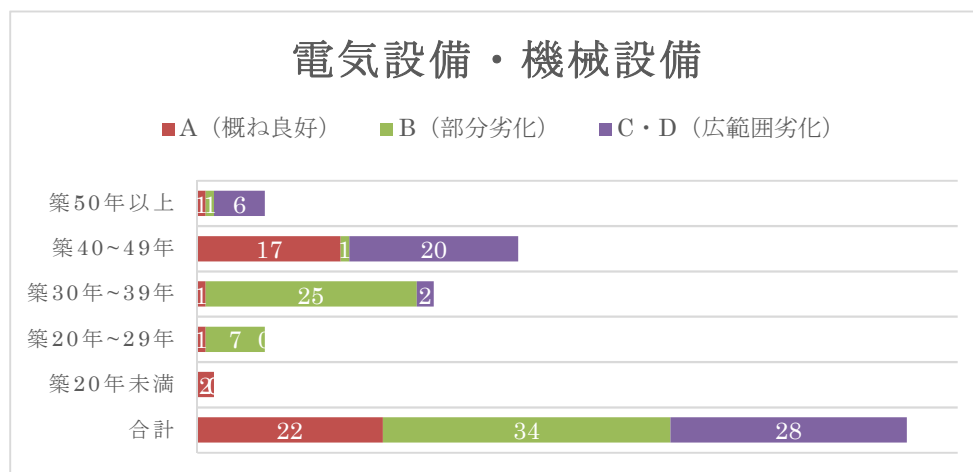
【外壁】

築40～49年のA評価は大規模改修を実施した施設であり、概ね良好との結果となっていますが、それ以外の築30年を超える施設についてはC及びD評価が約半数を占め、早急な対応が必要です。



【電気設備・機械設備】

築40～49年のA評価は大規模改修を実施した施設であり、概ね良好との結果となっていますが、それ以外の築40年を超える施設については劣化が進んでいます。また、築20～39年の施設については、多くはB評価となっているが、経年とともに劣化は進むことから計画的な改修が必要です。



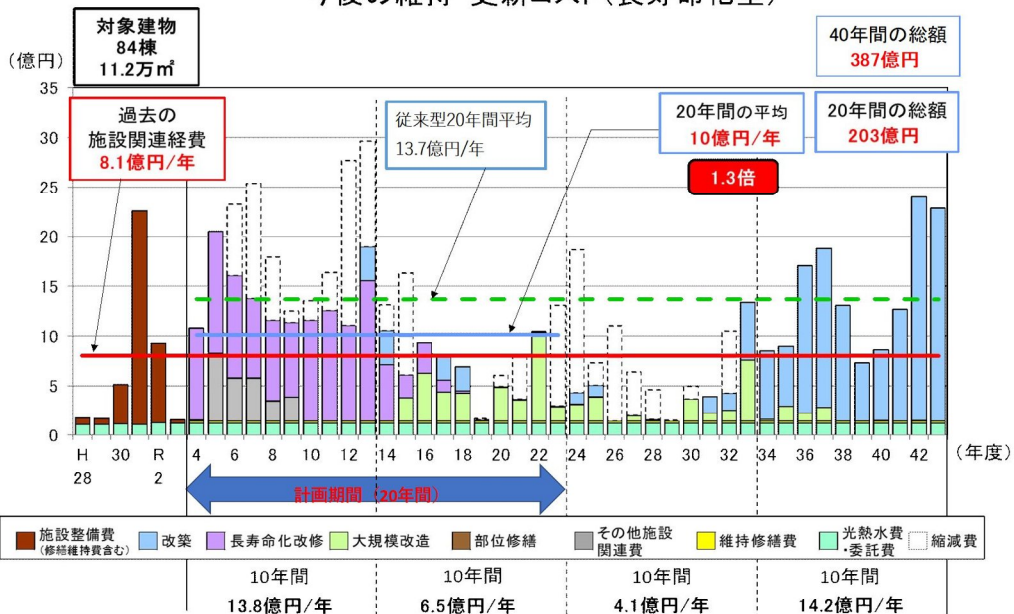
2) 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）

従来の築約50年周期での建て替え（従来型）ではなく、改築費の6割程度で長寿命化改修を実施し、施設を80年程度利用可能とする長寿命化型で維持・更新すると、令和4年からの令和23年度までの20年間の年平均改修等費用は約10億円（過去の施設関連整備費の1.3倍）となり、従来型と比較すると年約3.7億円の削減が可能となります。また、従来型で改築が集中する直近10年間の施設整備費においては、長寿命化改修に置き換わることで年約5.8億円削減が見込まれ、予算の平準化を図ることができます。

コスト試算条件（長寿命化型）

基準年度 2021		和暦	
試算期間: 基準年の翌年度から40年間			
※1 試算上の区分(改築、長寿命)ごとに更新周期を設定する。			
改築	更新周期	工事期間	実施年数より古い建物の改築を
	<改築、要調査> 50年	2年	10年以内に実施
	<長寿命> ※1 80年		
長寿命化改修	改修周期	工事期間	実施年数より古い建物の改修を
	<長寿命> 40年	2年	10年以内に実施
大規模改造	改修周期		
	20年周期	(ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない)	
※2 躯体以外の劣化状況が未記入の場合は、部位修繕は算出され			
部位修繕	※2		
D評価:	今後 5年以内	に部位修繕を実施	
C評価:	今後 10年以内	に部位修繕を実施	
(ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く)			
A評価:	今後 10年以内	の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く	

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）



※「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（文部科学省）付属エクセルシートを活用

(4) 学校施設整備の基本的な方針等

① 学校施設の規模・配置計画等の方針

1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

公共施設等総合管理計画の基本方針	人口減少による市税等の減少や扶助費等の増大による厳しい財政状況の中、施設改修等への投資的経費の抑制等が見込まれ、維持更新費の確保が困難であることから、中長期的かつ総合的な視点から公共施設等を計画的に維持管理するとともに「公共建築物」と「インフラ施設」の2つに分けて管理等に関する考え方を設定し、整備費用の抑制を図る。
公共施設等総合管理計画の施設類型別方針【学校】	安心・安全・防災機能の強化及び複合施設としての整備を考慮するとともに教育環境のニーズに適應できる環境整備と、老朽化に伴う長寿命化対策を合わせた整備を行う。また、学校統廃合及び校区再編成計画、小中一貫教育の導入等の教育諸施策と合致した学校施設整備を計画的に進める。

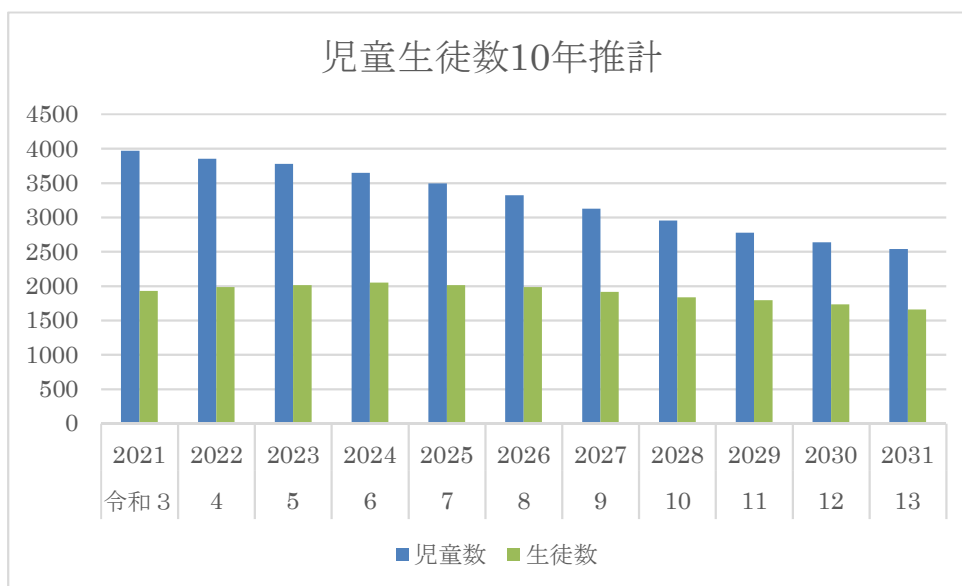
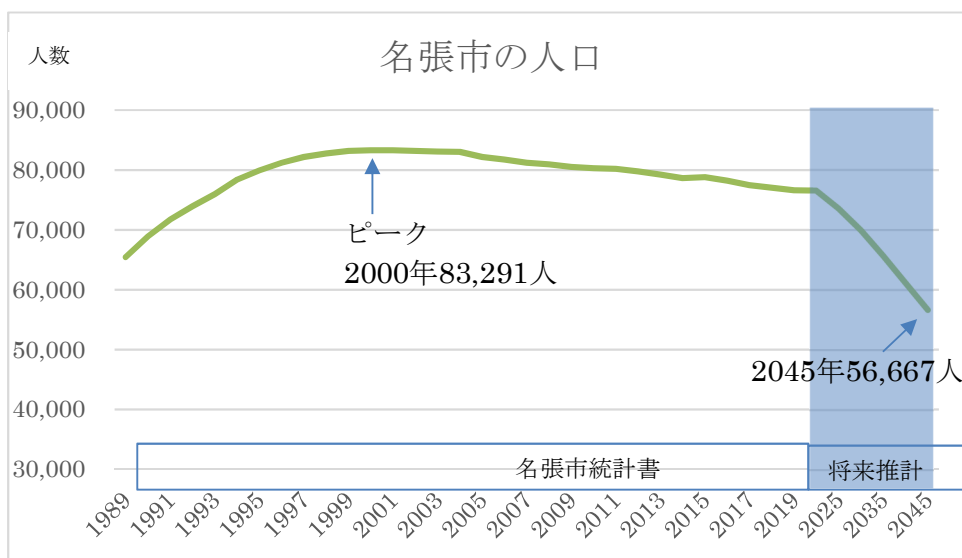


学校施設の長寿命化計画の基本方針	施設の老朽化が進み、今後、多額の改修・改築費用が必要と見込まれるが、厳しい財政状況により財源を確保することが困難であることから、学校施設の更新及び維持管理等については、適切な管理・保全を行うため、市の諸施策と調整を図りながら計画的に進めていき、施設の長寿命化とコストの平準化を図る。
------------------	---

2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

本市の人口は2000年にピーク（83,291人）を迎え、その後は減少しており、2045年の推計値は56,667人になると想定されています。また、小中学校の児童生徒数の10年推計値においては、今後10年間で児童生徒数は減少し、2031年には小学校で1,427人減少の2,539人、中学校では271人減少の1,659人になると想定されています。

現段階において、学校施設の規模・配置等については、現状の学校施設の規模等を維持し、今後、「名張市子ども教育ビジョン」に基づき、また、地域の実情を踏まえ検討を続けていくこととします。



② 改修等の基本的な方針

1) 長寿命化の方針

学校施設の老朽化対策はこれまでの改築中心から既存施設を有効活用する長寿命化改修を基本とした予防保全型の維持管理手法を中心に整備を進めることとします。

また、改修時には施設の活用状況を調査し、将来的な利用状況等も含めコストだけではなく総合的に判断し、より効率的な改修を行っていきます。

2) 目標使用年数、改修周期の設定

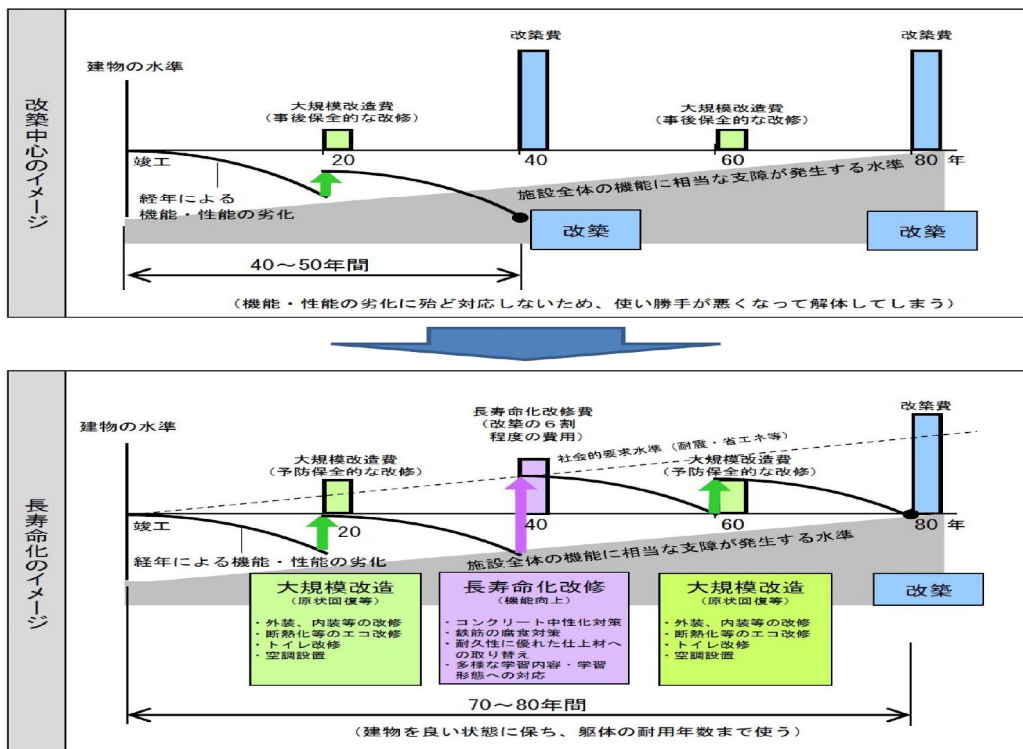
本市の学校施設の校舎及び体育館は鉄筋コンクリート造または鉄骨造であるため、目標使用年数を80年とし、機能向上や予防保全等の長寿命化改修を築40年目、経年劣化や機能低下に対する大規模改修を築20年、築60年を目安に実施していきます。

	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校舎	80年	築20年／60年	築40年
体育館	80年	築20年／60年	築40年

※建物点検の結果、部位ごとの緊急修繕等が必要な場合はその都度実施します。

《改築中心から長寿命化への転換イメージ》

出典：「学校施設の長寿命化改修の手引」



(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

① 改修等の整備水準

学校施設に対する整備水準は、年々、複雑化・多様化しており、本市においても耐震補強、空調整備、ICT教育環境整備、防災機能強化等を図ってきたところです。

施設の長寿命化改修等の際には、安全性、機能性、教育環境、バリアフリー、省エネルギー等における社会的ニーズに応じ、下表の項目を併せた整備を実施していきます。

安全性	機能性	教育環境	バリアフリー	省エネルギー
非構造部材の耐震化 耐震ガラス	建具改修 トイレの洋式化・乾式化 自動水栓化	ICT整備 採光通風 内装木質化	段差解消 手すり 多目的トイレ エレベーター	LED照明 省エネ設備導入 遮熱塗装

② 維持管理の項目・手法等

学校施設の維持管理を効率的・効果的に実施するため、右記の劣化状況調査票を用いて、

5 年ごとに点検を実施します。

通し番号	xxxx-xx-x	学校番号	1301	調査日	平成28年9月20日
学校名	A学校	校舎		記入者	〇〇
建物名	校舎	棟番号	1	建築年度	昭和44年度(1969年度)
構造種別	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,562㎡	階数	地上3階 地下0階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根()	H7	防水改修	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input checked="" type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input checked="" type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフ・レンを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	2	EXP J金物に脱落がある	C
				<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ <input checked="" type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁() <input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス	H3 H10	外壁改修 耐震補強	<input checked="" type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input checked="" type="checkbox"/> タイルや石が割れている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	多数	北側の劣化	D

部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input checked="" type="checkbox"/> 老朽改修	H5	大規模改修	B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置 <input type="checkbox"/> 障害児等対策 <input type="checkbox"/> 防犯対策 <input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input checked="" type="checkbox"/> 分電盤改修	H22		A
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input checked="" type="checkbox"/> 昇降設備保守点検	H18	指摘無し	
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			C
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input checked="" type="checkbox"/> 消防設備の点検	H27	指摘への対応済み	
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

(6) 長寿命化の実施計画

① 改修等の優先順位付けと実施計画

(1) 実施計画

本計画に基づいて、令和4年度から令和13年度までの10年間で「前期実施期間」、令和14年度から令和23年度の10年間で「後期実施期間」とし、財政状況を踏まえ、年次的に改修を進めていきます。なお、その期間中であっても、劣化の進行状況や工事の進捗状況、国の補助金の採択方針等、必要に応じて見直しを実施していきます。

(2) 改修等の優先順位付け

施設の劣化状況と築年数、設備等の不具合等に基づき、優先して改修が必要な施設を総合的に判断し、実施計画に反映します。

(3) トイレ整備

本市の学校施設のトイレの洋式化率は51.4%であり、大規模改修を実施した施設については洋式化が進んでいますが、それ以外の施設については和式便器が多く、かつ湿式であるため匂いや衛生面において問題となっていることから、教育環境の向上や機能改善を図るため、トイレの洋式化・乾式化の整備を計画的に進めていきます。

【前期実施計画】

- ・劣化状況評価の健全度(100点満点)が50点未満の施設について優先的に整備を行う。
- ・トイレの洋式化率の低い施設を優先し、洋式化及び乾式化の整備を行う。

前期実施計画(令和4年度～令和13年度)

	前期実施計画(令和4年度～令和13年度)				トイレ整備事業		
	学校名	建物名	健全度	築年数	学校名	建物用途	
長 寿 命 化 改 修 事 業	蔵持小学校	管理特別普通教室棟	49	50	ト イ レ 整 備 事 業	蔵持小学校	校舎
		屋内運動場	27	49		蔵持小学校	屋内運動場
	蕨原小学校	管理特別普通教室棟	34	45		蕨原小学校	校舎
	美旗小学校	給食棟	49	43		美旗小学校	校舎
	箕曲小学校	管理特別普通教室棟	41	45		箕曲小学校	校舎
		給食棟	49	45		箕曲小学校	校舎
	錦生赤目小学校	管理特別普通教室棟	37	41		錦生赤目小学校	校舎
		屋内運動場	29	39		錦生赤目小学校	屋内運動場
	桔梗が丘小学校	管理特別普通教室棟	49	50		桔梗が丘小学校	校舎
		特別普通教室棟	49	47		桔梗が丘南小学校	校舎
	桔梗が丘南小学校	普通教室棟	38	39		桔梗が丘東小学校	校舎
		管理特別普通教室棟	34	42		つつじが丘小学校	校舎
	桔梗が丘東小学校	給食棟	49	42		つつじが丘小学校	校舎
	つつじが丘小学校	特別普通教室棟	36	41		すずらん台小学校	校舎
		給食棟	49	41		すずらん台小学校	屋内運動場
	すずらん台小学校	管理特別普通教室棟	49	38		梅が丘小学校	校舎
		屋内運動場	27	38		梅が丘小学校	屋内運動場
	梅が丘小学校	屋内運動場	27	33		百合が丘小学校	校舎
	名張中学校	管理特別教室棟	40	36		百合が丘小学校	屋内運動場
	北中学校	管理特別教室棟	37	41		名張中学校	校舎
普通教室棟		29	41	名張中学校	屋内運動場		
南中学校	管理普通教室棟	49	39	赤日中学校	校舎		
	特別教室棟	46	39	北中学校	校舎		
	屋内運動場	27	39	南中学校	校舎		
				南中学校	屋内運動場		

※健全度・築年数は令和2年度基準

※健全度は建物用途の中で最も低い値

※築年数は建物用途の中で最も古い年数

【後期実施計画】

- ・劣化状況評価の健全度が 50 点以上 75 点未満の施設について優先的に整備を行う。

後期実施計画（令和14年度～令和23年度）

	学校名	建物名	健全度	築年数
長 寿 命 化 改 修 事 業	名張小学校	普通教室棟	53	66
		普通教室棟	51	59
		管理特別教室棟	51	52
		給食棟	59	52
	蔵持小学校	特別教室棟	53	45
	藤原小学校	給食棟	51	45
	比奈知小学校	給食棟	53	44
	美旗小学校	普通教室棟	57	38
	桔梗が丘南小学校	管理特別普通教室棟	52	46
	桔梗が丘東小学校	普通教室棟	62	39
	橋が丘小学校	普通教室棟	62	31
	百合が丘小学校	管理特別普通教室棟	72	30
		管理特別教室棟	72	30
		特別普通教室棟	65	30
	名張中学校	特別普通教室棟	65	70
		特別教室棟	53	32
	赤日中学校	普通教室棟	65	32
	桔梗が丘中学校	格技場	62	48
	北中学校	格技場	62	32
	南中学校	普通特別教室棟	59	36

※健全度・築年数は令和2年度基準

※健全度は建物用途の中で最も低い値

※築年数は建物用途の中で最も古い年数

(7) 長寿命化計画の継続的運用方針

①

本市の厳しい財政状況下で施設整備を進めていくためには、財源の確保が重要です。

有利な財源や文部科学省の学校施設環境改善交付金等の採択方針を注視しながら計画を策定し整備を進めてまいります。また、長寿命化計画策定後も定期的な劣化調査や点検を実施し、把握した情報や評価結果に基づき、PDCA サイクルによるフォローアップを行うことで、より効率的かつ効果的な施設整備を継続的に実施していきます。

【学校施設長寿命化計画にかかる PDCA サイクル】

